

消防団たずね歩き

基礎的な訓練を大切に

兵庫消防団第6分団は兵庫区最南部、兵庫運河の南側を管轄として、団員24人、実員23人（男性20人、女性3人）で活動しています。年齢構成は60代1人、50代5人、40代8人、30代3人、20代6人、平均年齢40.1歳とほぼ全国平均の分団です。皆とても仲が良く、その団結力で前回平成27年度神戸市消防団ポンプ操法大会では3位入賞を果たしました。



第6分団は兵庫消防団の他の分団と同じく、災害出動・救急講習指導・地域行事への協力などの活動をおこなっています。中でも当分団が重視しているのが訓練です。災害対応も地域防災力向上のための住民指導も、私たち自身がしっかりと訓練され、スキルを持っていなければ何もできません。

仕事・家庭を優先しながらの消防団活動ですので、分団定期訓練は月1回しかできませんが年間を通じ、主に消火・救急・救助の3分野のバランスがとれるよう基礎的な訓練を計画しています。

また、周囲を海・運河で囲まれた地域特性も

考慮し、地元小学校のご協力によりプールを使用した水難に対する訓練も取り入れています。



基礎的なことを繰り返す取り組みが基本方針ですが、マンネリとならないよう少しずつレベルアップも図っています。

たとえば今年度はじめて夜間訓練を取り入れました。夜間の大規模災害を想定し、小学校グラウンドで照明をすべて落とした状況で放水訓練を実施しました。グラウンドをとり囲むように校舎が立っていますので、街の明かりが入らず、ヘッドライトなどの手持ち照明では周囲の状況が全くわからず、よく慣れた小学校グラウンドなのに恐怖感すらありました。また、手慣れたはずのホース延長もいつもの倍以上時間がかかりました。



このように基礎的なレベルですが一歩ずつ向上していこうと、分団員一丸となって訓練に励んでいます。

（兵庫消防団第6分団 分団長 道林幸次）



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

